

# TA2020 - CSKIT組立説明書

本キットは、デジタルアンプキットTA2020KITに最適なエンクロージャー(ケース)キットです。

注意：本キットには、TA2020KITおよび電源(ACアダプター)は付属していません。

## 本キット以外に用意するもの

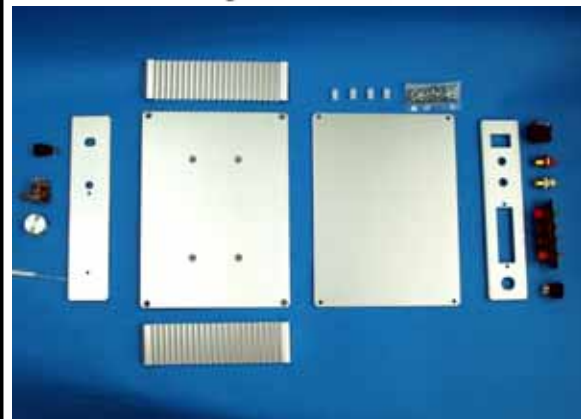
TA2020KIT(組立済)、ACアダプター(DC12V 2A以上) 2点とも別売となります。

## 本キット組立に必要なもの

ハンダコテ(40W位)、ハンダ、ワイヤーストリッパー(またはニッパ)、ラジオペンチ、プラスドライバー、ピンセット

## パーツリスト

部品名	数量	チェック	用途・説明
上カバー	1		角に4点の穴があいています。
下カバー	1		角に4点、中央部に4点、計8点の穴があいています。
フロントパネル	1		4点の穴があいています。
リアパネル	1		4点の丸穴と、2点の角穴があいています。
サイドパネル	2		ヒダ状になっています。
スペーサー	4		M3 ジュラコン製 10mm
ゴム足	4		シール付
ステレオジャック	1		フロントパネルに取付けます。 信号入力用
2連ボリューム	1		フロントパネルに取付けます。 Aカーブ 50K 取付ナット有
ツマミ	1		ボリュームに取付けます。
青色LEDランプ	1		フロントパネルに取り付けます。 抵抗付
RCAジャック 赤・白	各1		リアパネルに取付けます。 信号入力用 取付ナット有
電源スイッチ	1		リアパネルに取付けます。 電源のON - OFF
スピーカーターミナル	1		リアパネルに取付けます。 スピーカー出力用
DCジャック	1		リアパネルに取付けます。 電源入力用 2.1A用 取付ナット有
サラネジ A	8		上カバー、下カバー固定用 M3 六角レンチ使用
サラネジ B	4		スペーサー取付け用 M3 プラスドライバー使用
ナベネジ A	4		基板取付け用 M3 短いネジ
ナベネジ B	2		スピーカーターミナル取付け用 M3 長いネジ
スプリングワッシャー	2		スピーカーターミナル取付け用 M3
ナット	2		スピーカーターミナル取付け用 M3
ケーブルA 赤・黒	各1		電源配線用 0.75KV 太い単線ケーブル
ケーブルB 赤・黒	各1		LED配線用 0.3KV 細い単線ケーブル
ケーブルC	1		スピーカーターミナル配線用 0.75平行 OFC 青線が+
ケーブルD	1		入力信号配線用 シールド線 MVVS - S 0.2×2芯
六角レンチ	1		サラネジAおよびツマミに使用する工具



## 組立て手順

A ~ Kまで順番に組立作業を行ってください

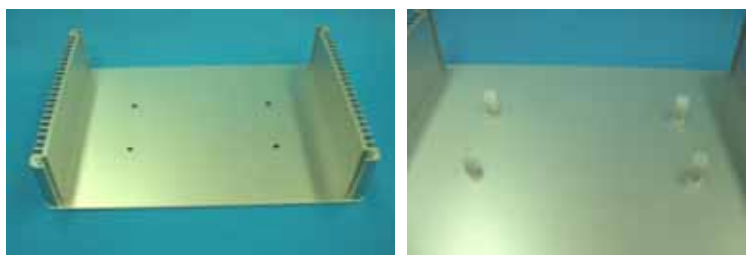
### A 下カバーの組立て作業

下カバーにサイドパネルを取付けます。

サラネジAを付属の六角レンチを使って、サイドパネル2枚を、下カバーにネジ止めします。尚、サイドパネルの左右区別はありません。

下カバーにスペーサーを取付けます。

サラネジBをプラスドライバーを使って、下カバーにスペーサーをネジ止めします。



### B フロントパネルの組立て作業

ステレオジャックをフロントパネルに取付けます。

表面より挿入し、しっかりと押し込んでください。

2連ボリュームをフロントパネルに取付けます。ナットをボリューム本体よりはずし、裏面より本体を挿入し、表面よりナットでネジ止めしてください。

LEDランプをフロントパネルに取付けます。

裏面より挿入し、しっかりと押し込んでください。



### C リアパネルの組立て作業

RCAジャックをリアパネルに取り付けます。

ジャック本体よりナットをはずし、本体を表面より挿入し、裏面よりナットでネジ止めしてください。赤白ともに取り付けます。

DCジャックをリアパネルに取り付けます。

ジャック本体よりナットをはずし、本体を表面より挿入し、裏面よりナットでネジ止めしてください。

スピーカーターミナルをリアパネルに取り付けます。

裏面より挿入し、表面よりナベネジBを挿入し、裏面よりスプリングワッシャーとナットでネジ止めしてください。

電源スイッチをリアパネルに取り付けます。

表面より挿入し、しっかりと押し込んでください。



## D ケーブル類の加工

**ケーブルA 赤および黒の片側のみ加工します。**

ワイヤーストリッパー(又はニッパ)で、ビニール被服を剥いて導体はネジってばらけないようにします。

**ケーブルB 赤および黒の片側のみ加工します。**

と同様に加工します。

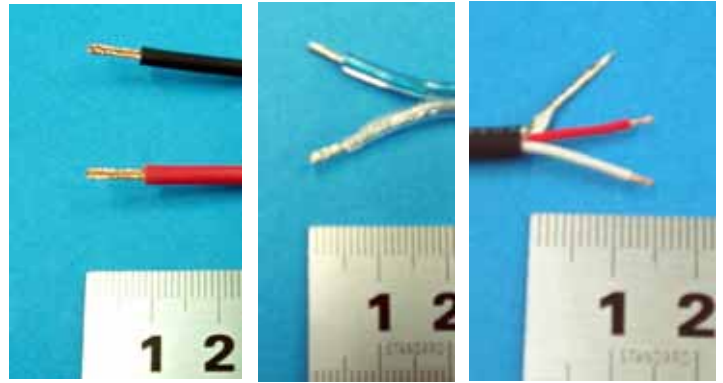
**ケーブルCを、2本、片側のみ加工します。**

半分の長さに切り、と同様に2本片側を加工します。

**ケーブルDを1本加工します。**

黒のビニール被服を剥く際に、シールドを切らないように剥いてシールドはバラけないようねじっておきます。

赤・白のケーブルは 同様に加工します。



## E アンプ基板へのはんだ付け作業

加工したケーブルを、下記の通りにTA2020KITの基板へ、基板裏面よりはんだ付けします。

ケーブルA 赤 VCC +

ケーブルA 黒 GND (VCC + の隣)

ケーブルB 赤 VCC +

ケーブルB 黒 GND (VCC + の隣)

ケーブルC1 青線有 OUT1 +

ケーブルC1 青線無 OUT1 -

ケーブルC2 青線有 OUT2 +

ケーブルC2 青線無 OUT2 -

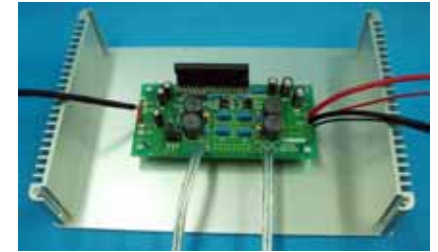
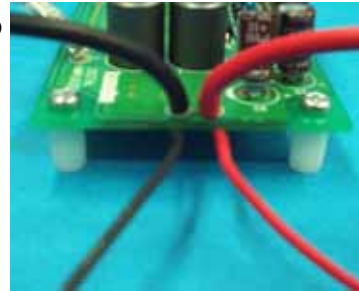
ケーブルD 白 IN1

ケーブルD 赤 IN2

ケーブルD シールド IN1 GND

\*IN2のGNDは1と共通になっているのではんだ付けはしません。

\*基板へはんだ付けする前に、ケーブルの導体にはんだをしみこませておくと、楽にはんだ付けできます。



## F アンプ基板の取付け作業

下カバーに取付けたスペーサー上に基板を置き、ナベネジAを、プラスドライバーでネジ止めします。

## G ケーブル類の加工作業

作業前に、フロントパネルとリヤパネルを仮組みしておくことで作業がしやすくなります。

サイドパネルの溝に、それぞれ落とし込むだけですみます。

**方向がありますので注意してください。**

フロントパネル 基板のIC側、ステレオジャックが右側

リヤパネルは 基板上のOUT1, 2側、スイッチが右側

**ケーブルB 黒を加工します。**

ケーブルB 黒を2~3cmの長さで、2本切断します。

2本とも、両端のビニール被覆を剥き、導体をばらけないようねじっておきます。

**ケーブルA 赤を加工します。**

ケーブルA 赤を、リヤパネルのスイッチまで余裕を持って届く長さに切断し、D - 同様に加工します。

また、余ったケーブルA 赤は、リヤパネルのスイッチからDCジャックまで余裕を持って届く長さに切断し、両端をD - 同様に加工します。

**ケーブルA 黒を加工します。**

ケーブルA 黒をリヤパネルのDCジャックまで余裕を持って届く長さに切断し、D - 同様に加工します。

**ケーブルCを加工します。**

ケーブルCを2本とも、リヤパネルのスピーカーターミナルに余裕を持って届く長さに切断し、D - 同様に加工します。

**ケーブルB 赤および黒を加工します。**

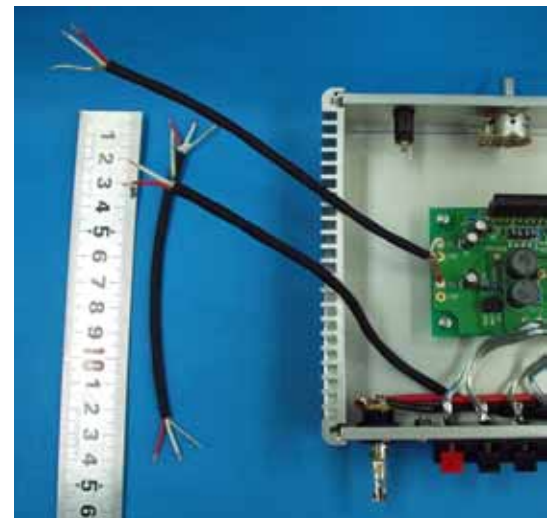
ケーブルBをフロントパネルのLEDランプまで余裕を持って届く長さに切断し、両端をD - 同様に加工します。

**ケーブルDを加工します。**

ケーブルDを、10cmと30cmの長さに切断し、それぞれ両端をD - 同様に加工します。

10cmと30cmの長さのケーブルDはそれぞれの片側を白同士、赤同士、シールド同士によじて仮止めします。

また、はんだ付けしてあるケーブルDは、フロントパネルのボリュームまで余裕を持って届く長さに切断し、両端をD - 同様に加工します。



## H リヤパネルへのはんだ付け作業

この作業を行う前に、Gで加工したケーブルの先端にはんだを吸い込ませておくと、作業がしやすくなります。

**RCAジャックへケーブルB 黒をはんだ付けします。**

G- で作成したケーブルB 黒の1本をRCAジャック赤および白の小さい端子にそれぞれはんだ付けします。

**RCAジャックへケーブルDをはんだ付けします。**

G- で作成したケーブルD(30cm)を、RCAジャックの赤及び白の大きな端子へ下記の通りにはんだ付けします。

ケーブルD 白 RCAジャック 白 **大きな端子**

ケーブルD 赤 RCAジャック 赤 **大きな端子**

シールド RCAジャック 白 **小さな端子**

**DCジャックにケーブルA 黒をはんだ付けします。**

DCジャックの小さな端子の外側に、ケーブルA 黒をはんだ付けします。

**DCジャックにケーブルA 赤をはんだ付けします。**

G- で切断したケーブルA 赤を

DCジャックの**大きな**端子に、はんだ付けします。

**電源スイッチにケーブルA 赤をはんだ付けします。**

ではんだ付けした、ケーブルA 赤と

基板にはんだ付けした、ケーブルA 赤を

それぞれ電源スイッチにはんだ付けします。

端子の区別はありませんのでどちらでもかまいません。

**スピーカターミナルにケーブルCをはんだ付けします。**

G- で加工したケーブルCを2本とも

スピーカターミナルに下記の通りはんだ付けします。

ケーブルC 1 青線有 スピーカターミナル 左 赤

ケーブルC 1 青線無 スピーカターミナル 左 黒

ケーブルC 2 青線有 スピーカターミナル 右 赤

ケーブルC 2 青線無 スピーカターミナル 右 黒

## I フロントパネルへのはんだ付け作業

**LEDランプの端子を加工します。**

LEDランプの2本の端子を、はんだ付けしやすくするために、それぞれの先端を丸く折り曲げます。

**LEDランプにケーブルB 赤及び黒をはんだ付けします。**

G- で加工したケーブルB 赤及び黒を

下記の通りはんだ付けします。

ケーブルB 赤 LEDランプ 白カバー付端子

ケーブルB 黒 LEDランプ 白カバー無端子

**ステレオジャックにケーブルDをはんだ付けします。**

G- で加工したケーブルDの仮止めした端を

下記の通りはんだ付けします。

ケーブルD 白(仮止め) ステレオジャック 端子 小 金

ケーブルD 赤(仮止め) ステレオジャック 端子 小 銀

ケーブルD シールド(仮止め) ステレオジャック 端子 大

**ボリュームにケーブルB 黒を仮止めします。**

G- で切断したケーブルB 黒を、ボリュームのL1とR1の端子のそれぞれ仮止めします。

**ボリュームにケーブルDをはんだ付けします。**

G- で加工したケーブルD(基板側と10cm)をボリュームに下記の通りはんだ付けします。

ケーブルD(基板) シールド ボリューム L1

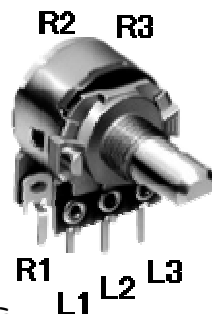
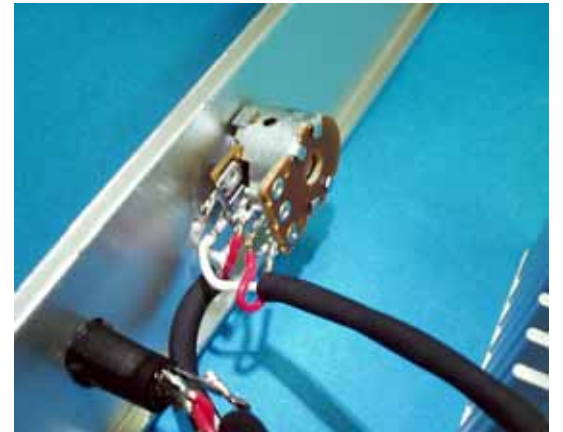
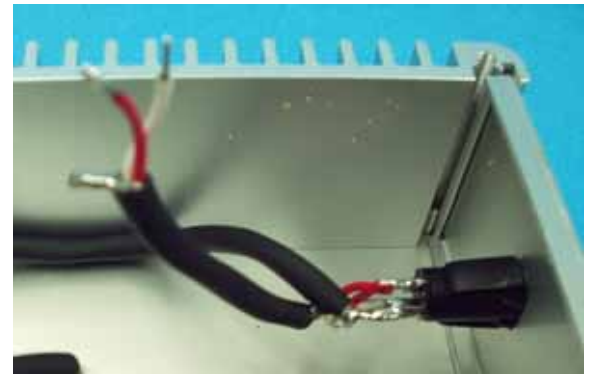
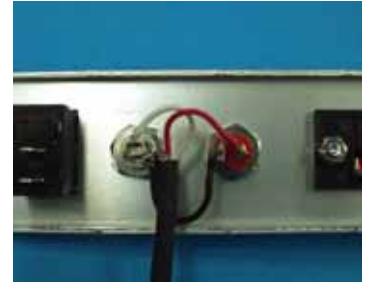
ケーブルD(10cm) シールド ボリューム R1

ケーブルD(基板) 白 ボリューム L2

ケーブルD(10cm) 白 ボリューム L3

ケーブルD(基板) 赤 ボリューム R2

ケーブルD(10cm) 赤 ボリューム R3



### はんだ付けのコツ

先に、端子側にはんだこてをあてて、加熱した後にはんだをと溶かし込んでいきます。はんだは多からず、少なからずでしっかりのせましょう。

## J 上カバーの取付け作業

サラネジAを付属の六角レンチを使って、ネジ止めします。

## K つまみの取付け作業

ボリュームのシャフトに、つまみを差し込み、つまみ横にあるネジを、付属の六角レンチを使って固定します。

### 完成図



ゴム足が付属しておりますので、使用方法によって張る位置を決めてください。

### 音出しするまでの手順

必要な機材をそろえて下さい。

ACアダプター(出力が、DC12V 2A以上 2.1ハイ センター+)

音源(CDプレーヤーなど)

スピーカー(インピーダンス8 )

ACアダプターをDCジャックに接続し、電源スイッチをONにします。

フロントパネルの青色LEDが光れば、問題ありません。

1回電源をOFFにし、光らなければ再度はんだ付けをチェックしてください。

音源およびスピーカーを接続します。

音源の入力は2通りあります。

リアパネルのRCAジャック または フロントパネルのステレオジャックに

接続してください。 **但し、同時に入力はできませんので**

**どちらか一方をご使用ください。**

リアパネルのRCAジャックは、白がL、赤がRを想定した設定になっています。

スピーカーターミナルは、右側の赤と黒がL、左側の赤と黒がRを想定した設定になっています。

ボリュームを半時計回りにいっぱいまで回しておきます。

電源スイッチをONにして、音源を再生します。

ゆっくりとボリュームを時計回りにまわしてゆき、音が再生しているか確認してください。

音が出ない場合は、電源スイッチをOFFにして、再度はんだ付けの状態をチェックしてください。

(ステレオジャックおよびボリューム付近のはんだ付けが、不十分な可能性が大きいです。)

音が出た場合は、スピーカーのLおよびRからそれぞれ音がでているかチェックしてください。

どちらか一方しか出ていない場合は、再度はんだ付けをチェックしてください。

### ご使用にあたっての注意事項

音源の入力については、CDコンポ等のLINEレベルの入力ゲインを想定しております。

音を再生する機器によっては、音が小さくなってしまう場合がありますので、事前にご確認願います。

直接接続出来ない再生機器 例 レコードプレーヤー、ポータブルタイプでヘッドフォンにボリュームが付くタイプ

### 保証について

キットはお客様自身の手で作り上げる商品ですから、一般電気製品の様なメーカー保証は適用されません。

しかしながら、どうしても動作しない場合、有料ですが動作させるお手伝いを致します。

下記手順に従って弊社に送付して頂ければ、必ず動作する状態にてお客様のお手元にお届け致します

### 送付するもの

1、本キット 輸送中に壊れないようにしっかりと梱包してください。

2、メモ 現在どういう症状なのか、また動作環境等をなるべく詳細に書いて下さい。

また、お客様のお名前・郵便番号・住所・電話番号も明記して下さい。

3、手数料 ￥5,000 - (税込み)

送付先 〒144-0051 東京都大田区西蒲田5-25-12 電話番号 03-3733-7456

株式会社 カマデン エレクトロプラザ店 通販係 宛



本機をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本機に関するご質問・ご意見等ありましたら下記窓口までお問い合わせ下さい。

株式会社 カマデン エレクトロプラザ店 通販係

電話番号 03-3733-7456 ファックス番号 03-3731-1776

メールアドレス support@kamaden.com

営業時間 AM10:00 ~ PM7:00